

12/02

農業就職・転職LIVE

セミナー スケジュール



10:30~10:50

農業初心者講座

～わたらしい就農スタイルを見つけよう！～

現在の農業事情を踏まえながら、就農スタイル、就農の方法まで分かりやすく解説いたします。

株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部 農業活性営業部 総合企画営業1課 課長 伊藤史哉



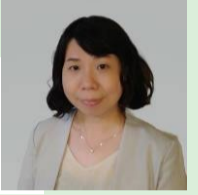
2014年中途入社。
東北6県・北陸3県の中小企業・小規模事業者をメインに新卒・中途・女性の再就職支援に従事し通算で約600社の採用・定着支援・移住・就農支援を行う。
2022年9月より東京へ異動し、主に農林水産省事業・各県市町村の受託事業の就農・移住・地域おこし協力隊の獲得支援を担当している。

11:25~11:45

まずは体験してみよう！農業インターンシップ

農業インターンシップは農業に興味のある方が農業法人等で行う短期就業体験です。

公益社団法人日本農業法人協会 経営支援課 課長補佐 名取芙海



長野県諏訪郡富士見町出身。大学農学部卒業後、新卒で豆腐製造の食品会社に就職し、豆腐工場の生産管理業務に従事。2004年に日本農業法人協会に転職。協会では農業インターンシップ事業をはじめ、就農に役立つ資格修得を支援する職業訓練事業や会員農業法人で働く従業員の人材育成事業、外国人技能実習生の監理団体業務等、農業分野で働く「人」に関わる業務を幅広く担当。

12:20~12:40

みんなで作る組織・企業型農業のスタイル

研究開発型の農業カンパニー・あさい農園が目指す新たな農業経営の在り方について

株式会社浅井農園 代表取締役 浅井雄一郎（博士（学術））



1980年三重県津市生まれ。2008年よりミニトマト生産を開始し、品種開発～生産～加工流通まで独自の農業バリューチェーンを構築しながら事業規模を拡大。施設園芸と果樹の複合経営に挑戦し、キウイフルーツ等の大規模園地開発に取り組む。農業経営の傍ら、三重大学大学院においてトマトのゲノム育種研究に取り組み博士号を取得。農林水産省「食料・農業・農村政策審議会」、「国立研究開発法人審議会」等の委員を歴任する他、東京大学大学院の非常勤講師を務める。グループ会社にうれし野アグリ（2013年）、アグリッド（2018年）。

13:15~13:35

縁が広げる農業の楽しさ

縁が広がることで起こる化学反応で生産した物を一切無駄にせずお客様に届ける。

萩原苺農園 副代表 萩原健司



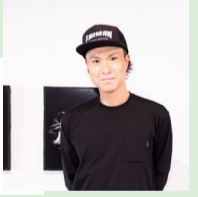
代々農家の長男として生まれておじいちゃんおばあちゃん父親母親親戚から農家の跡取りになると期待を受けて育てられるがガッツリその期待を裏切ってやりたい事がある訳ではないけど農家だけはやりたくない普通の高校、大学に進学してフリーターを経験した後ふとした気付きで農園を継ぐ事を決意。
100%JA、市場出荷から98%の離脱を試みて自分で販路の開拓に成功。
新規就農支援に力を入れて出身者を多数輩出し続けてます。

14:10~14:30

金ナシ、コネナシ、経験ナシ。ゼロからの新規就農

高校卒業後、翌日から有機農家の元で研修を受け、20歳でゆかりのない土地、山梨県北杜市で独立就農。社会経験や資金、繋がりが無かった井上さんがどのような経緯で、有機農業を通して経営を行っているのか赤裸々にお話いたします。

株式会社ファーマン 代表取締役 井上能孝



2001年に山梨県北杜市に移住し独立。有機野菜の栽培・加工から廃校を活用したボルダリングジムの運営など、活動は多岐にわたる。日本テレビ「有吉ゼミ」の人気コーナー「工藤阿須加の楽しい農業生活」での栽培指導もその一つ。農林水産省全体を視野に入れた事業を展開している。

15:05~15:25

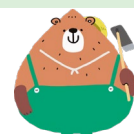
農業を通して豊かな生活をしてみませんか？

新規就農の受け入れ等の会社の取り組み、現在の農業界へ思うこととお話します。

株式会社日下農園 日下和明



株式会社日下農園2代目。3年前に会長へ就任。農業高校、農業短大を卒業後、20歳からみかんを作り、41年。5年前からブルーベリー栽培をはじめ。10年前から新規就農者の受け入れを開始し、独立就農者を7名輩出。現在、受け入れている研修生は7名。その内、海外からの研修生も受け入れている。初代から三代にわたり、新規就農者の受入・育成を行い地域の担い手育成にも貢献している。



新・農業人フェア